

■防府市 (ほうふし)

人口 117,945 人 面積 188.59 km²



【剣道、健康マージャン】

防府市は、山口県の瀬戸内側中央部に位置し、古くは周防国の国府として栄え、また、交通の要衝として発展したまちです。毛利藩時代から製塩業が盛んでしたが、製塩業の廃止を契機に塩田跡地に企業誘致を進め、今では、大規模自動車組立工場を頂点とする輸送用機械器具製造業が集積するなど、県内有数の製造品出荷額を誇る産業都市です。

日本三天神の一つ「防府天満宮」

学問の神様・菅原道真公を祀った神社で、京都の北野、福岡の太宰府と共に日本三天神のひとつです。九州に向かう途中、防府に立ち寄った道真公は、この地が気に入り、自分が死ねば魂となって帰ってくると約束したと伝えられ、九州で公が亡くなった翌年（904年）、日本で最初の天満宮として創建されたといわれています。

四季折々に多彩な祭事が催され、多くの参拝客で賑わいます。



国指定名勝の「毛利氏庭園」・「毛利博物館」



大正5年（1916年）に完成した旧萩藩主毛利氏の邸宅は、当時の建築の粋をつくした壮大な建物で、今では作り得ないほどの豪華さを誇ります。庭園は回遊式になっており、四季折々の彩り豊かな景観を楽しむことができます。邸宅の一部に設けられた毛利博物館には、雪舟の「四季山水図」を含む国宝・重要文化財や重要美術品等が多数収蔵されています。

建築、庭園、美術品とさまざまな日本の美に囲まれて、極上の贅沢を味わうことができます。

ほうふ花燃ゆ大河ドラマ館

本市はNHK大河ドラマ「花燃ゆ」の主人公「文」こと楯取（かとり）美和子と夫の楯取素彦男爵が晩年を過ごしたゆかりの地、また、幕末の維新の志士たちが闊歩した地です。

「ほうふ花燃ゆ大河ドラマ館」をJR防府駅東側にありますルルサス防府2階多目的ホールに開設し、大河ドラマの世界をお伝えします。



しあわ

「幸せます」ブランド（商標登録）

「幸せます」は山口県の方言で、「幸いです、便利です、助かります、うれしく思います、ありがたいです」の意味で使用されます。

防府では、これに「幸せが増す」という意味を加え、地域のブランドにしました。このブランドを多くの方に愛して頂ければ大変幸せます。

